

# 蹴友

OB会

開成サッカー部  
OB会誌 No.31  
2011年5月12日

会員のみなさんの連絡、お問い合わせは

開成サッカー部OB会事務局

〒113-0023 東京都文京区向丘1-9-28

一音寺内 TEL 03-3811-4061

副会長中村の観戦記3本立て！

## ☆観戦記① OBチーム

### 平成22年度荒川区サッカー選手権の決勝に進出！

OBチーム（H16～22年卒）は、所属している荒川区社会人リーグの「平成22年度荒川区サッカー選手権」に2回戦（2/20）から出場、1部リーグ1位の45ers（開成OBは2部リーグ2位）と対戦し2・2の後PK戦（4・2）で辛勝、続く準々決勝（3/6）で1部リーグ3位のシーラカンスを1・0で下し、準決勝（3/27）では1部リーグ5位の瑞光会に4・1と快勝、決勝（5/22）で1部リーグ4位の荒川区役所と対戦する。優勝すれば参加2年目での初優勝となる。

#### 2回戦

前半は、キックオフ直後から開成OBがゆつくりボールを回してサイドから攻撃するのに対して、45ersはマイボールになるとスピードのあるツートップ目掛けて早めにロングボールを蹴っていくという対照的なゲーム展開が続いた。20分頃にペナルティアークの右20m位の位置から直接FKをMF10番に決められたが、終了間際にFW境野がドリブルで突破し、飛び出したGKに一度は弾かれたがこぼれ球を押し込んで同点で前半を終えた。

後半は、走力に勝る開成OBがゲームを



▼今更ながら日本は地震国だと痛感させられた。大きなプレートが動く、そこそこの地震まで誘発される、天災に人災が重なって、動きの取れない状態になってしまふ。▼そのような流れの中で、これも今更ながらだが、極度の一極集中の弊害が取り沙汰されている。テレビの映像などで知るのみなのだが、西欧諸国の国土利用は極めて巧みで、地域の活力や文化的特色が良く保持されているようだ。▼さてサッカーの話。地万都市を基盤に結成されたクラブチームがそれぞれの地域の熱烈なサポートを受けて活躍する。ザスパ草津を思い出す。経営の苦労を耳にするが、地域がさらに痩せ細れば、このような存在はそもそも許されまい。▼産業や経済の効率を考えれば、一極集中は意味がある。しかし、国の安全、活力の保持、または、社会的リスクの分散の観点から、再考すべき時期に来ているのでは？

（順）

支配し10分にFW境野がずる賢くPKを得たが、これは境野自身が右ポストに当てて外してしまった。しかし、攻撃の手を緩めることなく15分過ぎにMF草川の右からのセンターリングをFW鏡がワントラップの後、飛び出したGKを見ながら落ち着いてブッシュし2…1とリード。45分の攻撃パターンは相変わらずパワープレーだけなのでそのまま逃げ切れるだろうと観ていると、何とロスタイムのラストプレー（センターサークル近辺からのFK）で失点しPK戦へ突入してしまった（わざわざアジアカップの日韓戦の真似をしなくてもいいのに…！）。

PK戦は一番手のFW鏡がバーに当たったが、GK吉田が相手の一番手を止めて流れを引き寄せ、後の4人（峯岸・草川・秋本・境野）がすべて決めて4…2で何とか勝ち上がった。

開成…×○○○○ 45分…×○×○

### 準々決勝

前半は、お互いにボールがうまく繋がらず決定的な場面を作れない。開成OBは15分過ぎの右CKからサインプレー気味にボールが繋がり、MF中太がペナル

ティアークの右端あたりから放った左足のシュートをバーに当てたのが唯一のチャンスで0…0。

後半は、開成OBが序盤からボールポゼッションを高めて攻め上がり、度々チャンスを作ったが決め切れず、「またPK戦か…？」との思いが脳裏をよぎり始めた残り10分待望の先取点が入った。左サイドに流れてボールを受けたFW鏡がペナルティエリアの左端辺りでボールをキープし、上がってきたMF川口にタイミング良くグラウンダーのセンターリング、川口はそれをゴール正面でワントラップの後、キックフェイントで飛び込んできたBKをうまく外しゴール右に流し込んだ。以後のシラカンスの反撃も全員で凌いで1…0で勝ち上がった。

### 準決勝

前半、開成OBは守備重視の瑞光会に対してボールポゼッションの割にはサイド攻撃やツートップのポストプレーが上手いはず攻めあぐねたが、10分過ぎに相手のクリアミスでペナルティアーク付近で拾ったMF中太がタイミング良く放ったシュートがゴール右に決まりラッキーな形で先取点

## OBチームは「東京カップ」に出場、1回戦快勝、2回戦でPK負け！

OBチームは、昨年に引き続き天皇杯の東京都予選を兼ねた「平成23年度東京都社会人サッカーチャンピオンシップ（東京カップ）」に出場し、1回戦（18）でサッポロFC（サッポロビールのチームで東京都社会人リーグ4部10ブロック優勝）に7…0と快勝。続く2回戦（26）でRacing Club de Tokyoと対戦、東京都社会人リーグ2部所属の強豪チーム相手に無失点で守り切り、PK戦に持ち込んだ。PK戦も10人目までも粘ったが結局6…7で敗れた。昨年同様2回戦での敗退だったが、昨年は完敗だった（東京蹴球団に0…3）東京都社会人リーグ2部所属チームに善戦し、監督としては着実にチームが強くなっていることを確信した。

### 1回戦

1回戦は駒沢公園補助球技場においてナイターで行われた。開成OBはキックオフ直後からボールポゼッション7…3ぐらいで圧倒的にゲームを支配し、前半3…0、



後半は足の止まったサッポロFCに対し4得点、7…0で快勝した。開成OBのバックラインは相手の攻撃を完璧に押さえ、GK吉田がボールに触れたのは数回という監督としては見えていて非常に楽しい勝利だった。

※試合経過をもっと書きたいのですが、「東京フットボールネットワーク」に以下のような戦評が掲載されましたので、素人サッカー記者の執筆は辞退させていただきます。以下は「東京フットボールネットワーク」の記事と写真です。

が入った。しかし、その後は追加点が奪えず前半は1…0で終了。

後半開始早々にBKの連係ミスから左サイドを割られGKと一対一になったピンチを左ポストに救われた後、10分過ぎ頃から相手の足が止まり出し、開成OBの右サイドからの攻めが目立ち始め、その後の10分間でボールを奪ってからのカウンター攻撃から、MF堅元、FW境野、MF堅元と続けざまに3点を奪い試合を決めた。終了間際にクリアミスから相手にミドルシュートを決められたのは余計だったが4…1の快勝だった。



試合はキックオフ直後から開成がボールを支配し、相手陣内でゲームを進める。4分に左からのクロス逆サイドで中太が押し込み先制すると、17分にはゴール前に飛び込んだ秋本が追加点を奪う。その後も境野、中太のドリブルから好機を見いだす開成は、前半終了間際にも大野が頭でうまく合わせて、前半を3…0で折り返す。

後半も勢いを継続する開成は37分に鏡が追加点を挙げると、足が止まった相手を一気に突き放す。53分には大野、59分には草川が追加点を奪い、67分には中太がこの日2点目となるミドルシュートをネットに突き刺し、終わってみれば開成が7点を奪う大勝で2回戦進出を決めた。サッポロは最後まで相手のプレスに苦しみ、ほとんどシュートを放つことができなかった。開成OBは2回戦（2月6日／大井第一球技場）で東京都リーグ2部のRacing Club de Tokyoと対戦した。

### 2回戦

2回戦は大井第一球技場で行われた。対戦相手のRacing Club de Tokyoは昨年の東京蹴球団（0…3の完敗）と同じく東京都社会人リーグ2部常連の強豪チームだ



が、この1年で確実に力を付けている開成OBは速いプレッシングで相手の攻撃を押さえ前半を終えた。後半に入ると相手のゲームメーカーであるMF8番（大柄ながらボール捌きが上手い）から両サイドにボールを回されアタッククロスを度々放り込まれたが、三井と橋詰の両CBとGK吉川を中心に何とか跳ね返して凌ぐ中、開成OBは後半半ばにFWとMFを同時に2枚替えて勝負に出た。開成OBの得点パターンである左サイドのSB近藤とMF中太にFWや他のMF絡む展開が出るようになったが、決定的な場面にはならず結局スコアレスドローで終わり、PK戦に入った。PK戦もサドンデスとなり10人目までもつれたが残念ながら勝ち切れず6・7で敗れた。

※この試合も「東京フットボールネットワーク」に以下のような戦評が掲載されました。以下は「東京フットボールネットワーク」の記事です。

試合は引いて守りを固める開成OBを序盤からAciesが一方的に押し込んだ。それでも前半は開成OBのキャプテン草川が「失点さえしなければ良かった」と話した通り、遠目からのシュートでゴールを脅か

されるも、決定的な場面を作らせず、狙い通りの展開で折り返す。

後半、何とか先制点を奪いたいAciesは選手交代で攻撃にアクセントを加えると、両サイドを起点に波状攻撃を仕掛ける。45分にはMF船水のやわらかいクロスにFW岡村が頭で合わせるがわずかに枠を外れる。その後もボールを支配するAciesは幾度となく相手ゴールに迫るが、最終局面での工夫が見られず得点が奪えない。一方、守備で粘りを見せる開成OBも終盤に入るとカウンターでワンチャンスを狙うが、こちらも得点は奪えず、結局試合はスコアレスのままPK戦にもつれ込む。

PK戦は互いに10人ずつが蹴り合う接戦となったが、最後はGK吾妻の活躍が光ったAciesが7・6で制し3回戦進出を決めた。Aciesは3回戦で同じ東京都リーグ2部の駒沢Greenと対戦する。

試合後、AciesのGK吾妻は「PKは相手の助走を見ていつも飛ぶ方向を判断している。それが今日はうまく当たったので良かった。次戦は昨年のリーグ戦で負けている相手だし、同じやり方では勝てない。しっかり準備して臨みたい」と意気込んだ。一方、敗れた開成OBのキャプテン草川は

「東京都2部を相手に自分たちが狙いとする展開には持ち込めた。自分たちも今年から東京都4部に参戦するので、早く今日の相手のレベルまで到達出来るように頑張りたい」と話した。

### < OB チームはメンバー募集中です >

OBチームは、昨年度は荒川区社会人リーグ2部で2部に終わりましたが、常にリーグ戦での優勝、そして区民大会と選手権大会の優勝の三冠を目指します。また、今年度から念願だった東京都社会人リーグへの参加も決まり、今後は東京都と荒川区の両方で活動していきますのでメンバーを募集しています。

是非、キャプテンであるH17卒の草川君に連絡してください。開成で仲間と楽しんだサッカーを卒業しても続けましょう。

※草川君のメールアドレス pep\_4\_xavi\_6@yahoo.co.jp

## ☆観戦記② 高校

### 関東大会都予選 (Best 30) の1回戦は善戦だったが 1・2で敗れる！

昨秋の新人選手権地区予選（第1地区…荒川区、江戸川区、江東区、墨田区、葛飾区の25校）を修徳に次ぐ2位で勝ち抜いた開成は、関東大会都予選1回戦（ヤノ）で都立野津田（第6地区32校中2位）と対戦、1・2（前半0・0、後半1・2）で惜敗した。しかし、開成は高3が1名しか出ていない新チームなので格上に対して良くやったと言うのが私の率直な感想でした。尚、この新高2&1は2009年秋に「首都圏私立中学校チャンピオンズカップ・東京都大会（67校）」で優勝し、「本大会（16校）」に出場した年代ですので今後の活躍が期待出来ます。

H23年度関東大会都予選HP↓※

#### 試合経過

試合前の練習でも新高3主体の野津田と新高2主体の開成では体格差や技術の差は明らかで、ボコボコにされるかと思いな

がらキックオフを待ちました。細かいパスを繋いで組み立てる野津田の攻撃パターンをスカウティングしていたのでしよう、開成は守備ラインを高目にしたコンパクトな布陣から速攻を狙う作戦をとった。ボールポゼッション7・3くらいで野津田がゲームを支配していたが、開成はツートップのチェイシングや中盤から最終ラインのマークがしっかりしていてシュートまで持ち込ませない。両サイドのSBにタイミング良く攻撃参加されサイドから崩されるピンチが数回あったが、身体を張ったBKのクリアやGKの素早い飛び出しなどで前半は0・0で守り切った。数えていないが相手のCKは10回以上あった筈。開成の攻撃パターンはパスカットからの速攻だけだが、10分過ぎにキャプテンのFW10番にいい形で渡ったボールが上がって来たMFに繋がり、ペナルティエリアを飛び出したGKの上をループシュートで狙った場面が前半

唯一のチャンスだった。

後半開始前に開成はFWの11番から12番へチェンジ、前線でのチェイシングを続けるためか…。後半も当初は開成の粘り強い守備が効いていたが、5分過ぎに中央で細かいパスを繋がれバックラインの裏に抜け出されフリーでシュートを決められ失点。しかし、開成は全員が声を出して立て直しを図る。20分頃から開成の足が止まるとMFの13番から14番へチェンジ。野津田は追加点を狙って両サイドのSBを高目にして攻撃を仕掛けてきたが、逆にそのオーブンスペースを開成が利用しチャンスが生





まれた。30分、右サイドのオーブンスペースに走り込んだ10番へ20番からの縦パスが渡り、飛び出したGKを外したシュートが決まり同点へ。その後はオーブンな攻め合いになり、38分、開成は左サイドを抜け出した10番がBKと競り合いながら放ったシュートは左ポストに阻まれ跳ね返ったボールを詰めたMFがブツシュしたがカバリーに入ったBKにクリアされ、続くCKからの10番のヘディングシュートはGKにナイスセーブされた。この2度のチャンスを決め切れない中、40分、野津田に中央のFKから速いボール回しから左サイドを割られ、決勝点を決められ1…2で惜敗した。新出コーチの指示通りのゲームを行ない、先制されたが同点に追いつき逆転のチャンスも作ったこのチームには今後も期待が持てる。

## 20年振りに新人戦地区予選を突破、関東大会都予選 (Best 30) へ！

東京都の新人戦地区予選（1地区…荒川区、江戸川区、江東区、墨田区、葛飾区）は25校を4ブロックに分けて予選トーナメントが行われ、開成はCブロック（6校）



50人で組む円陣

利さを意識したゲームプラン（2敗している都立小松川は大量点を狙って最終から攻めてくるだろうから前半は守備を固めてカウンター狙い、後半勝負！）を取っているように思えた。しかし、小松川が思いの外攻めて来ないのでカウンター狙いの開成の思惑通りのゲーム展開にならず、お互いに中央の守りは固める中、開成は左サイドから、小松川は右サイドからチャンスを作るといって一進一退の展開が続いた。20分が過ぎたところで、開成の守備が先に綻びを見せた。小松川がゲームメーカーの8番がボランチの位置まで下がってボールを捌き

の2回戦で都立本所を1…0で下し、続く予選トーナメント決勝で都立紅葉川を延長戦の末3…2で破り、決勝リーグ（修徳、都立小松川、都立城東、開成の4校）に進出。決勝リーグ初戦で強豪の修徳に對して0…1と善戦し、第2戦は当面のライバルと目された都立城東を5…2で下し、期末試験明けの最終戦では都立小松川に0…2で敗れたが、修徳（3勝）以外の3校がすべて1勝2敗で並び、開成が得失点差で2位となり関東大会東京都予選 (Best 30) へ進出した。H2卒のOBから「H2卒も都大会に進出」との連絡があったので、どうも約20年振りの都大会進出のようです！  
新人戦地区予選HP↓※

### 決勝リーグの最終戦

12月19日（日）に行なわれた地区予選決勝リーグの最終戦（VS都立小松川）には約20年振りの都大会進出がかかっていた。この試合に勝つか引き分ければ（修徳が都立城東に勝つのが前提ですが）地区予選決勝リーグ2位以内になり都ベスト30として関東大会の東京都予選に進むことが出来るので試合前の円陣で選手たちは「勝って都大会に行こう！」と気合を入れていた。

ゲームを優位に展開する中、ツートップとポストプレーからMFにベナルティアークの左側から抜け出され、ゴールライン際からの折り返しをブツシュされて先制点を与えてしまった。先制点を取られたが、開成はゲームプラン通り慌てて攻めに出ず前半はそのまま0…1で終了した。

後半は開成のキックオフで始まった。開成はやはり攻撃的になり後ろからの押し上げが前半とは全く違う。4人のMFはもちろん両SBも積極的に攻め上がる中、5分ごろ右サイドからの攻めで得たCKがベナルティアークの辺りに蹴られ、ヘディングシュートにはちよつと距離があるなと思つて観ているとサインプレーなのか上がつて来たMFが右足でダイレクトボレーシュートを打った。芯を捉えたナイスシュートにGKは全く反応出来なかったが残念ながらゴールバーを直撃してノーゴール。さらに開成は攻勢に出て7…3くらいのボールポゼッションを維持して攻め立てる中、左サイドのスローインをツートップの11番が胸で落としたボールをフォローに来たMFがダイレクトシュートを放った。これもナイスシュートだったが今度は左ポストを直撃してゴールならず。このいずれ



試合が始まって直ぐに決勝リーグ第2戦（都立城東に5…2で勝利）とは選手の動きが違ふと思った。フォーメーションは同じ4…4…2だが後ろからの押し上げが無く、第2戦のようにボールを繋いでサイドから攻めずに早めにツートップ目掛けて大きく蹴っていた。期末試験明けでコンディションが良くないのでゲームプランを変えているのかなと思ひ、横で観戦していた父兄に聞いてみると12月14日（火）まで期末試験があったとのことなので、監督は選手コンディションと得失点差+2という有

かが入って同点になっていたらゲームは開成のものになっていたのだが、12分頃、逆襲から左サイドを割られ追加点を取られ0…2。開成はさらに攻撃を強め15分にはキャプテンの10番が左サイドを抜け出し、中央に詰めていた11番にセンターリング、決まっと思ひガッツポーズをしようとした瞬間にスライディングしてきた右SBにシュートブロックされた。ここから残り時間は開成に攻め急ぎが目立ち得点出来ず、結局0…2で敗れた。

そんなに実力差に差が無いチーム同士の試合だとやはり先取点があるの言います、前述したように2本のボレーシュートの内1本でも入っていたらと思うのはやはりタラレバですね。この敗戦で修徳VS都立城東の試合結果が本当に気になり、翌日、HPで確認すると修徳が1…0で勝つていたので修徳（3勝）以外の3校がすべて1勝2敗で並び開成が得失点差で2位となり、4月の都大会（関東大会東京都予選）への進出が決定した。



## ☆観戦記③ 中学

都大会 (Best 32) に進出も1回戦で  
優勝した暁星中に0:1で惜敗!

中学は新人大会支部予選(第5支部・荒川区、足立区、中央区、台東区の約50校が参加)を第3位(足立七中、足立六中、開成中)で勝ち上がり、都大会(ベスト32)に進出したが、初戦(11/27)に強豪の暁星中と対戦し善戦したが0:1(前半0:1、後半0:0)で敗れた。その後暫くしてHPで確認すると、暁星中は何と優勝していた。  
東京都新人大会HP↓※

### 試合経過

支部予選の試合は全く観ていなかったのですが、この試合を逃したら来年の「蹴友/春号」に中学の観戦記が書けなくなると思い、家内の冷たい視線に送られながら朝8時半に家を出て(10時キックオフなので)会場の東久留米西中に向かった。  
暁星のキックオフで前半が始まった。当

初は5分5分の試合展開だったが、5分過ぎから個人技に勝る暁星が次第にゲームを支配し、両サイドの空いたスペースにパスを回されサイドから何度かチャンスを作られた。開成はゴール前での辛抱強いデフェンスで何とか失点を防いでいた。「このまま前半を辛抱して0:0で終わればいいな」と思い出した20分過ぎに右サイドをドリブルで突破され、ファーポストまで流れたセンターリングをフリーの7番に押し込まれ失点。開成の攻撃はゲームメーカーの10番にボールがうまく集まらず、いい形を作れないまま前半を終了した。

私はバックサイドで両校の父兄の間で試合を観ていたが、スタイルの違い面白かったので報告します。開成は父兄といってもほとんど母親ばかりで声援も「ファイト!」とか「開成がんばれ!」といった黄色い声

が多くビデオを回しながら「勝負しろ!」とか「何やってるんだバカ!」とかの指示のようなものがほとんどだった。時代は変わったな?

後半に入り、開成の動きが一変した。リードされているので前掛かりになり積極的に攻撃を仕掛け始めた。バックの押し上げもあり、ゲームメーカーの10番が前半より高い位置でボール捌きゲームを組み立てられるようになった。一方、暁星はカウンターでチャンスをつかみ、右サイドに開いた9番がドリブルで縦に突破してチャンスを作った。追加点を取られると試合が決まっ



※ <http://www.soccer-tokyoctr.jp/>



まう中、クロスバーに救われる場面もあり何とか凌いでいると20分過ぎに絶好のチャンスが訪れた。ゴール正面20mのFK。当然10番が直接狙うと思って観ていると、10番は助走をつけてボールに向かうが蹴らずにそのまま右サイドに流れ、そこに後ろから出てきたキッカーがパスを出した。トリックプレー。しかし、右サイドからセンターリングに合わせたヘディングは左逸れてゴールならず。結局、開成は得点を奪えずそのまま0:1で敗れた。



## 会長企画ゴルフコンペのご案内

- ◇日時: 11年9月29日(木) 8時20分現地集合
- ◇場所: 千葉カントリークラブ 川間コース
- ◇開始: 東スタート9時03分
- ◇参加者: 5組20名
- ◇参加費: 2万円
- ◆申込み: fujisakidt@msn.com



## 藤崎会長フレイ BEATLES

藤崎会長は現役の頃、生徒会長をやったり、ギターでビートルズを奏でたりしておりました。ただの遊びです。お気軽にお出かけください。



- ◇日時: 11年6月22日(水) pm 7:00 ~ 9:00
- ◇場所: 温気持瑠おおの(根岸2-20-10 TEL 03-3871-2890)  
※日暮里駅南口を右に出て、階段を降りたら右手に道沿いに徒歩5分の右サイド。
- ◇会費: 4,000円
- ◆申込み: 会場の席数に限りがあります。来られる方は以下までご連絡ください。  
S43 卒平山: darumabc@nifty.com TEL 03-3529-1695

# 連載『私の青春とサッカー』

榮 隆男（昭和33年卒）



## 安保闘争

一九六〇年、今から五十年前、すなわち半世紀前のことである。その後の、と言うか、戦後日本の歴史の転換点となった一大政治事件があった。安保闘争である。それは、一九六〇年（昭和三十五年）、一九七〇年（昭和四十五年）の二度にわたり引き起こされた日米安全保障条約（安保条約）に反対する労働者や学生、市民が参加した史上空前の反政府、反米運動であり、政治闘争であった。私の学生生活は、まさにその「六〇年安保」で始まったのである。この闘争の遠因を求めれば、太平洋戦争（第二次世界大戦）とその敗戦にまで遡らなければならないのだが……。とにかく、この安保条約は、一九五一年、敗戦国日本が、国際社会に再び復帰する為、第二次世界大戦の四ヶ国との間で結んだ平和条約（サンフランシスコ条約）締結の折に、主席全権委員であった総理大臣、吉田茂が、「日本国とアメリカ合衆国との間の安

全保障条約」として、沖縄を切り捨てることで成立させたものである。この単独講和に、強く反対した東大総長、南原茂を、吉田は「曲学阿世の徒」と罵倒した。この条約によって占領軍の一国であったアメリカ軍は、「在日米軍」として、今に至っている。「安保は日本をアメリカの戦争に引き込むもの」として、前年からすでに、国論を二分する激しい議論が行われていたが、岸信介率いる自由党が、五月一九日に、この条約を強行採決し、衆議院を通過させると、闘争は一気に過熱した。六月一九日の自然成立を前に、連日の国会へのデモは、労働者、学生を中心に二十万とも三十万とも言われるほどに膨れ上がり、騒乱一歩手前となり、岸は、自衛隊に出動要請まで試みた。断られると、岸は、右翼団体、ヤクザをデモの弾圧に動員し、六月一五日彼等はデモ隊を襲撃、多くの重傷者が出た。国会議事堂前では、警官隊とデモ隊との衝突の中、東大生の樺美智子さんが圧死すると言

う事件が起こり、闘争はさらに燃え上がっていった。

## ストライキ

大学内もまた騒然としていた。連日のように、クラス討論が繰り返され、ストライキによる授業ボイコットで学生達は政府に抗議をしようとした。議論は稚拙で感情論が強かったが、国家の未来を思い社会を正そうとする熱気はすさまじいものがあった。

五月一五日を境に授業ボイコット・ストライキが頻発し、教室は次々に閉ざされ、学生達は国会へのデモに加わっていった。学生達のそのような行動の背景には、学生には社会的責任がある、という当時の社会通念があり、学生達もまた、自らが社会変革の担い手であらねばならぬといった強い自負があったからでもある。その自覚の背景には、実は戦没学生の無念に対する深い共感があったのである。

## 学徒出陣

一九四三年（昭和一八年）十月二十一日、明治神宮外苑競技場（現国立競技場）に、東京、神奈川、千葉、埼玉の大学、専門学

校から召集された七万人の学生達が、冷たい秋雨の降りしきる中、「出陣学徒壮行会」に参加し、隊列行進し、戦地へと送り出されて行った。学生代表の学生等もより生還を期せず、のことばの如く多くの学生達が、異国の海に山に斃れ、再び還ることがなかった。学業半ばで自らの意思とは異なる国家意思の決定の下に死んでいった先達への鎮魂の思いは深く、戦争への拒否感はこのほか若者、とりわけ学生達には強かった。敗戦後、まだ日も浅かったのである。まして、首相岸信介は、東条内閣の閣僚であり、A級戦犯容疑者でもあったから、運動は反政府運動の色彩を多分に含んで激しさを増していった。

そんな中、私もクラス討論にも加わりつつ、東伏見へと通っていた。ストライキで授業がなく、練習休みのある日、私は一人で国会へのデモに出掛けることにした。川淵キャプテンのデモは行ってもいいが、ケガはするなという通達があったが、早稲田から国会方面行きの都電乗り場へと向かった。

（次号へ）

## 2011年OB親睦－学年対抗フットサル大会

### 6/5（日）ジョモニスタ南与野にて開催！

開成サッカー一部OB会では、OB間の親睦を図るために、今年も以下のように「OB親睦－学年対抗フットサル大会」を開催いたします。

同期のメンバーなどに積極的に声をかけていただき奮ってご参加ください。もちろん個人での参加も大歓迎です。

30歳以上OBや40歳以上OBも体力に合わせて、怪我に気を付けながら楽しいフットサルをやっていますので是非ご参加ください。

### ●日時：2011年6月5日（日）12：30クラブハウス集合！

13：00～16：00でフットサルコート（人工芝）を3面使用

大学生OB中心には「学年対抗ガチンコフットサル」

30歳以上OB＆40歳以上OBは「それなりフットサル」

### ●場所：ジョモニスタ南与野（南与野駅徒歩5分）

〒338-0832 埼玉県さいたま市桜区西堀9-17-4 Tel 048-859-6701

<http://www.jomonista.com/myono/>

### ●懇親会：－いちげん南与野店（南与野駅徒歩1分）17：00～

〒338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷2-1220-2

Tel 048-856-1800

[http://www.via-hd.co.jp/ichigen/shoplist/ichi\\_minamiyono/](http://www.via-hd.co.jp/ichigen/shoplist/ichi_minamiyono/)

### ●申込：各年代、または前後の年代でチーム（5名以上で1チーム）を構成して、中村（toshinao.nakamura@nomura.com）に参加希望メール（ゲームに○名、懇親会に×名）を送付してください。

個人参加の場合も人数把握のため参加希望メールを送付してください。





## ご報告

OB会総会 11月23日 開成食堂



写真左は、総会前のゲーム風景。  
写真右は、挨拶する藤崎会長。  
今回も飲食ともたっぷり。  
写真下右は、壇上で紹介された  
OB チームの面々。  
最後は、エールでしめます。



OB会忘年会 12月9日 神田「好好」



今回は、昭和 42 年卒の山崎、石川、平沢、  
石橋の 4 氏が参加されました。写真中は、  
挨拶する山崎氏。  
写真右は、挨拶する昭和 38 年卒の橋本氏。  
写真左は、OB チームキャプテンの平成  
17 年卒の草川氏。



### ・・・OB 会費納入のお願い・・・

サッカー部 OB 会では、現役と OB チームの活動をサ  
ポートするために、毎年金銭的援助を継続しております。

昨年 10 月から今年 9 月までが 1 会計年度ですので、1  
会計年度で 1 口 5,000 円（出来れば 2 口 10,000 円）の  
OB 会費を何卒よろしく願います。 学生の方々は就  
職してからで結構です！

#### <振込口座>

ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキュー部店）  
当座 0250029 開成学園サッカー部 OB 会  
（ATM やネット Bank から振り込めます）



#### 訃報

昭和三十二年卒大村實太郎氏

ご遺族より平成二十一年十一月十七日  
に逝去との連絡があり、金一万円の献金  
がありましたことをご報告いたします。  
心よりご冥福をお祈り申し上げます。